アフリカ州

名前

問1　アフリカ大陸のサハラ砂漠の南側に広がる「サヘル」と呼ばれる地域では、深刻な環境問題に直面しています。この地域で発生している環境問題の主な原因と、その解決に向けた取り組みの組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. サンゴ礁の死滅に伴う漁業資源の減少と、沿岸部でのマングローブの植樹
2. モンスーンの影響による大規模な洪水と、国際河川へのダム建設による流量調節
3. 輸出用の農作物の増産による砂漠化と、フランスなどと協力した植林による土壌の再生
4. 銅鉱石の露天掘りによる地形の変化と、鉱山跡地を利用した大規模な太陽光発電

問2　南アメリカの国々のうち、鉄鉱石などの鉱産資源、大豆などの農産物、さらには航空機や自動車といった機械類の輸出も盛んであり、多角的な産業構造を持つ国として適切なものを選びなさい。（2017年 兵庫県公立入試 類似）

1. アルゼンチン
2. コロンビア
3. チリ
4. ブラジル

問3　日本がアフリカ諸国に対して行っている国際協力において、現地の人々が自ら土のうを用いて道路を補修する技術指導や、ネリカ米（アジアイネとアフリカイネを交配させた新種）の普及活動が行われています。このような活動が目指している主な目的の組み合わせとして、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 社会資本の整備を通じた雇用の創出と、慢性的な食料不足の解決
2. 大規模な重化学工業の導入と、化石燃料の安定的な確保
3. 高度な情報通信網の独占的な提供と、海外企業の誘致
4. 学校教育の普及による識字率の向上と、野生動物の保護

問4　アフリカ大陸の乾燥した地域で見られる、羊やヤギ、ラクダなどの家畜を飼育する伝統的な生活様式について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. 広大な土地を柵で囲い、特定の場所に定住して牛や馬を大規模に飼育する形態
2. 先進国向けの輸出を目的として、特定の農産物を大規模な農園で栽培する形態
3. わずかな水や草を求めて、家畜とともに家族や集団で移動しながら飼育する形態
4. 大型の機械や化学肥料を使い、広大な土地で小麦などの穀物を栽培する形態

問5　21世紀半ばにかけての世界の人口推移を予測した統計において、2010年から2050年にかけての人口増加の割合が最も大きくなると予測されている地域はどこか、名称を答えなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 北アメリカ
2. 南アメリカ
3. アフリカ
4. ヨーロッパ

問6　エジプト、イギリス、アメリカの3か国における年齢別人口構成を比較した際、エジプトの統計データに見られる顕著な特徴として最も適切なものはどれですか。なお、統計ではエジプトの15歳未満人口の割合は約25.7%、65歳以上の割合は約6.8%となっています。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. 少子高齢化が非常に進んでおり、若年層よりも高齢者の割合が高い。
2. 65歳以上の高齢者が占める割合が、欧米諸国と比較して高い。
3. 人口減少が深刻な問題となっており、15歳未満の割合が10%を下回っている。
4. 15歳未満の若年層が占める割合が、欧米諸国と比較して高い。

問7　アフリカの産業構造の変化や、地域統合の動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. アフリカ諸国が結成したAUは、政治的・経済的な統合を強め、地域内の紛争解決や発展を自らの手で進めることを目指している。
2. APECに加盟することで、アフリカ大陸全体で関税を撤廃し、北米諸国との自由貿易を最優先で進める方針をとっている。
3. かつての宗主国との関係を断絶するため、EUのような広域経済圏には参加せず、一国主義による経済開発を継続している。
4. モノカルチャー経済から脱却するため、すべての国が共通通貨を導入し、工業製品の輸出額が一次産品を上回るようになった。

問8　アラブ首長国連邦の輸出統計において、1990年には原油が全体の74.7パーセントを占めていましたが、2017年には機械類が21.1パーセントで1位となり、原油は12.4パーセントに減少しています。このような変化は、同国がどのような経済状態からの脱却を目指していることを示していますか。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 保護貿易
2. 加工貿易
3. モノカルチャー経済
4. 自由貿易

問9　輸出総額の約半分をコーヒー豆が占め、次いで野菜や切り花といった農産物が品目別の割合の上位を占める国があります。このような一次産品の輸出に依存する経済構造が抱えるリスクとして、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 山口県公立入試 類似）

1. 国際価格の下落や天候不順による不作が、国家財政や国民生活に深刻な打撃を与える。
2. 特定の品目の生産に集中することで、世界市場のシェアを独占し価格決定権を握ることができる。
3. 輸出額と輸入額が常に一定の割合で連動するため、外貨不足に陥る心配が全くない。
4. 高度な加工技術を必要とするため、国内の教育水準が上がらないと製品を生産できない。

問10　日本の国際協力の一環として行われているアフリカでの食料生産指導について、その具体的な内容と期待される効果として正しい説明を選びなさい。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 都市部での教育支援のみに特化し、農業に従事する人口を減らして工業化を促進することで経済発展を図る。
2. アジアイネの多収性とアフリカイネの病害虫・乾燥への強さを併せ持つ「ネリカ米」を普及させ、食料生産を安定させる。
3. 現地の野生動物を保護し、観光業を振興することで得られた外貨をすべて食料の輸入費用に充てるよう指導する。
4. 日本の最新式大型農機具を無償で大量に提供し、現地の伝統的な農法をすべて機械化による大規模栽培に置き換える。

問11　アフリカ大陸の国境線には、山脈や河川などの自然の地形ではなく、経線や緯線に沿って引かれた直線的なものが多く見られます。このような幾何学的な国境線が引かれた主な歴史的背景は何ですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 国連の主導により、将来の資源開発を公平に行うために策定されたから
2. かつてヨーロッパ諸国が植民地支配の際に、自国の都合で境界を定めたから
3. アフリカ諸国が独立する際、民族の居住地域を厳密に分けるために合意したから
4. 砂漠地帯が多く、目印となる地形が全く存在しなかったから

問12　北アフリカに位置するアルジェリアでは、都市の景観にイスラム風の様式とフランスの影響が共存しています。このような景観が成立した歴史的背景と、独立後の経済発展を支えた資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. フランスの植民地支配を受けた歴史があり、天然ガスや石油を活用している。
2. イタリアの植民地支配を受けた歴史があり、希少金属（レアメタル）を活用している。
3. スペインの植民地支配を受けた歴史があり、銅やリチウムを活用している。
4. イギリスの植民地支配を受けた歴史があり、石炭や鉄鉱石を活用している。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 輸出用の農作物の増産による砂漠化と、フランスなどと協力した植林による土壌の再生	サハラ砂漠の南縁に位置するサヘル地域では、人口増加による過放牧や、外貨を得るための輸出用農作物の過剰な栽培（過耕作）が原因で、土地が痩せて砂漠化が進行しています。この深刻な干ばつや砂漠化に対し、かつての宗主国であるフランスや近隣諸国が協力し、グリーンベルトを形成するための植林活動などを通じて土壌の再生に取り組んでいます。
問2	答え 4 ブラジル	ブラジルは広大な国土と豊かな資源を背景に、多様な産業を発展させてきました。かつてはコーヒーなどの農産品が中心でしたが、現在はカラジャス鉄山などで採掘される鉄鉱石や、広大な農地で栽培される大豆に加え、工業化の進展により高度な機械類の輸出も行っています。これにより、特定の品目に頼りすぎない貿易構造が構築されています。
問3	答え 1 社会資本の整備を通じた雇用の創出と、慢性的な食料不足の解決	日本のアフリカ支援は、単なる物資の供与ではなく、現地の自立を促す内容が特徴です。道路整備などのインフラ（社会資本の整備）を住民自らが行うことで雇用の機会を生み出し、同時に乾燥に強く収穫量の多いネリカ米を普及させることで、現地の深刻な課題である食料不足の解決を目指しています。土のうを使った道路補修は、特別な機械がなくても維持管理ができる持続可能な支援の好例です。
問4	答え 3 わずかな水や草を求めて、家畜とともに家族や集団で移動しながら飼育する形態	降水量が極めて少ない乾燥帯では、一年を通じて同じ場所で家畜を育てるための草や水が不足します。そのため、家畜の餌となる草や水を追い求めて、人間が移動しながら生活する「遊牧」が行われてきました。これに対し、定住して広い牧場で行うものは「放牧」や「商業的牧畜」と呼ばれ、遊牧とは区別されます。
問5	答え 3 アフリカ	21世紀の世界人口は増加傾向にありますが、地域によってその推移は異なります。統計上、アジアは世界最大の人口を抱える地域として推移していますが、増加の「割合」に注目すると、2010年以降はアフリカ地域が他の地域を大きく上回るペースで拡大していくと予測されています。
問6	答え 4 15歳未満の若年層が占める割合が、欧米諸国と比較して高い。	エジプトなどの発展途上にある国々では、医療技術の向上により乳幼児の死亡率が低下する一方で、出生率が依然として高い水準にあるため、ピラミッド型の人口構成になります。そのため、すでに少子高齢化が進行し、15歳未満の割合が低下しているイギリスやアメリカなどの欧米諸国と比較すると、若年層が占める割合が圧倒的に高くなるのが特徴です。
問7	答え 1 アフリカ諸国が結成したAUは、政治的・経済的な統合を強め、地域内の紛争解決や発展を自らの手で進めることを目指している。	アフリカ連合（AU）は、アフリカ諸国がかつての植民地支配の影響や、特定の産品に頼る経済構造（モノカルチャー経済）、そして頻発する紛争といった課題を解決するために結成されました。他地域の勢力に依存するのではなく、アフリカ自らの手で平和の構築や経済成長を促進する「地域統合」の枠組みであることが大きな特徴です。共通通貨などの構想はありますが、現時点で全加盟国への導入は実現しておらず、課題も多く残っています。
問8	答え 3 モノカルチャー経済	かつてのアラブ首長国連邦のように、原油という特定の地下資源の輸出に経済を依存している状態は、資源価格の下落が国家予算に直結するリスクがあります。近年、西アジアの産油国では、観光業の振興や工業化、中継貿易の強化などを通じて、特定の資源に依存しない産業構造への転換を進めています。
問9	答え 1 国際価格の下落や天候不順による不作が、国家財政や国民生活に深刻な打撃を与える。	モノカルチャー経済の最大の特徴は、経済の不安定さにあります。自国で価格をコントロールできない国際市場の変動や、干ばつなどの自然災害によって特定の作物の収穫が減ると、輸出収入が激減し、経済全体が立ち行かなくなる危険性を孕んでいます。
問10	答え 2 アジアイネの多収性とアフリカイネの病害虫・乾燥への強さを併せ持つ「ネリカ米」を普及させ、食料生産を安定させる。	ネリカ米（NERICA）は「New Rice for Africa」の略称で、アジアの高い収穫量とアフリカの環境適応能力を兼ね備えたハイブリッド米です。灌漑設備が不十分な地域でも栽培が可能であるため、アフリカの慢性的な食料不足を解決する画期的な手段として日本の技術指導のもとで普及が進められています。他の選択肢にあるような「教育のみ」「保護のみ」といった偏った支援ではなく、産業の基盤を作る多角的な支援が行われています。
問11	答え 2 かつてヨーロッパ諸国が植民地支配の際に、自国の都合で境界を定めたから	19世紀後半、ヨーロッパ諸国はベルリン会議などを通じてアフリカの分割を進めました。その際、現地の民族分布や地形を無視し、地図上の経線や緯線を基準に人為的な境界線を引いたことが原因です。この直線的な国境線は、独立後のアフリカ諸国において、同じ民族が分断されたり異なる民族が共存したりする要因となり、紛争の背景の一つにもなっています。
問12	答え 1 フランスの植民地支配を受けた歴史があり、天然ガスや石油を活用している。	アルジェリアは19世紀から1962年の独立までフランスの植民地であったため、建築や言語においてフランスの影響を強く受けています。それ以前からのイスラム文化と融合した独特の景観はこの歴史を反映したものです。経済面では、独立後にエネルギー資源の国有化を進め、豊富な天然ガスや石油を主な輸出品とすることで、国営企業を主軸とした経済成長を目指しました。